

東京女子医大手術ミス

執刀医らを告訴へ

業過致死 死亡の女兒遺族

東京女子医科大病院
(東京都新宿区、林直諒
院長)の心臓手術ミスで

群馬県高崎市の女兒(当
時12)が死亡した問題
で、女兒の遺族は執刀医

らを業務上過失致死容疑
などで今月8日にも刑事
告訴する方針を固めた。

病院側が死因を隠していし
ていたことについても、
死亡診断書などを偽った

として、告訴に含めるこ
とを検討している。
死亡したのは小学6年
生だった平柳明香ちゃ
ん。昨年3月、同病院で
心臓の心房中隔にあいて
いた穴を縫い合わせる手
術を受け、3日後に死亡
した。

死因は当初、心不全と
説明され、死亡診断書の
死亡原因欄には心房中隔

欠損症などと記載されて
いた。だが病院の内部調
査で、手術時に人工心肺
装置の操作ミスで血流が
滞ったことが死因だった
と判明した。

遺族らによると、手術
チームの責任者の医師と
心肺装置の担当医を、業
務上過失致死容疑で刑事
告訴する。
死亡診断書を作成した

主治医やICU記録に贋
孔徑を裏際より小さく記
入した医師についても、
死因を隠したとして私文
書偽造容疑などで告訴す
ることを検討している。

女子医大小児心臓手術事故
執刀医らを告訴へ
2002年1月1日 朝日新聞